安全データシート
(SafetyDataSheet)

作成 1993 年 9 月 1 日
改訂 2019 年 10 月 1 日

1. 製品名及び会社情報

製品名	シールピールコールドタイプ＃8008(メチルシクロヘキサン)
推奨用途	防錆、防毀損、マスキング
供給者の会社名称	関東化学工業株式会社
担当部署	営業部
電話番号	03-3211-1861
FAX番号	03-3211-1865
整理番号	SC-010J

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理科学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 3(麻酔作用)
環境有害性	水性環境有害性(急性)	区分 1
	水性環境有害性(慢性)	区分 1

(注) 記載なき GHS 分類区分:該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

飲み込むと有害

強い眼刺激

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急処置】

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

【貯蔵】

容器を密閉して換気の良い所で保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：スチレン－ブタジエンブロック共重合体溶液

成分	メチルシクロヘキサン（MCH）	鉱油	p-オクチルフェノール
含有量%	50-60	<1	<1
化学式	C7H14	特定できない	$C_8H_{17}C_6H_4OH$
官報公示整理番号	(3)-2230	特定できない	3-503
CASNo.	108-87-2	特定できない	140-66-9

成分	トルエン	スチレン・ブタジエンゴム	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	無機粉体
含有量%	<1	10-20	10-20	10-20
化学式	C7H8		C15H24O	
官報公示整理番号	(3)-2	6-134	3-540;9-1805	非公開
CASNo.	108-88-3	9003-55-8	128-37-0	非公開

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メチルシクロヘキサン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メチルシクロヘキサン,鉱油,2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

4. 応急処置

【吸入した場合】

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

【皮膚(又は髪)に付着した場合】

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

【目に入った場合】

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

【飲み込んだ場合】

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の処置

【消火剤】

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

噴流水を消火に用いてはならない。

【特有の危険有害性】

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

【消火を行う者への勧告】

消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

【消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置】

防火服又は防炎服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

関係者以外は近づけない。

風下で作業をしない。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

【環境に対する注意事項】

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

【封じ込め及び浄化の方法及び機材】

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

【二次災害の防止策】

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

（取扱者のばく露防止）

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

（注意事項）

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

【安全取扱注意事項】

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

【接触回避】

強酸化性物質との接触を避けること。

【衛生対策】

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

【保管】

（安全な保管条件）

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

（避けるべき保管条件）

高温と着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. 暴露防止措置

管理指標

管理濃度

（トルエン）

作業環境評価基準(2009) <= 20ppm

許容濃度

（メチルシクロヘキサン）

日本産衛学会(1986) 400ppm; 1600mg/m3

（トルエン）

日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m3 (皮)

（メチルシクロヘキサン）

ACGIH(1962) TWA: 400ppm (上気道刺激; 中枢神経系損傷; 肝臓及び腎臓障害)

（トルエン）

ACGIH(2006) TWA: 20ppm (視覚損傷; 女性生殖; 流産)

(2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール)

ACGIH(2001) TWA: 2mg/m3(IFV) (上気道刺激)

（無機粉体）

ACGIH(2009) TWA: 2mg/m3(E,R) (肺繊維症; 肺機能) (アスベストを含まないもの)

設備対策

室内作業場で使用する場合、発生源の密閉又は局所換気装置を設置する事。

取扱所の近くに洗眼設備・シャワー・手洗い・洗顔設備を設け、その場所を明瞭に表示する。

保護具

呼吸保護具: 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、送気マスク(濃度が高い場合)

保護眼鏡: 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

保護手袋: 耐溶剤性(不浸透性)手袋 推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム

保護具: 不浸透性作業衣、耐溶剤性前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	色:	無色、透明
臭い:	溶剤臭	Ph:	適用外
沸点又は初留点:	78.7℃	融点/凝固点:	データなし
比重:	0.7694(20/4℃)(MCH)	蒸発速度	データなし
分解温度:	データなし	可燃性(ガス、液体及び固体):	引火性
引火点:	5℃	自然発火点:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし	相対ガス密度(空気=1):	データなし
蒸気圧:	データなし	蒸気密度:	データなし
密度及び/又は相対密度:	データなし		
動粘度:	データなし	動粘性率:	データなし
溶解度:		溶媒に対する溶解度:	データなし
水に対する溶解度:	不溶	粒子特性:	適用外
n-オクタノール/水分配係数:	データなし		

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	蒸気は引火して爆発するおそれがある。
避けるべき条件	高温と着火源(裸火、火花など)を避けること。
混触危険物質	強酸化性物質
危険有害な分解生成物	データなし
その他	ゴム・プラスチックの一部については溶解する物がある。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)	[日本公表根拠データ] (メチルシクロヘキサン) mouse LD50=1200mg/kg (RTECS, 2005) mouse LD50=1200mg/kg (RTECS, 2005) (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) rat LD50=2450mg/kg (DFGOT vol.23, 2007) (p-tert-オクチルフェノール)
急性毒性(経皮)	[日本公表根拠データ] (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) rat LD50 >2000mg/kg (SIDS, 2002) (p-tert-オクチルフェノール) rabbit LD50=1880mg/kg (SIDS, 2005)
急性毒性(吸入)	[日本公表根拠データ] (トルエン) vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.
労働基準法:疾病化学物質	トルエン

【 局所効果 】

皮膚腐食性/刺激性	[日本公表根拠データ] (トルエン) ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003) (p-tert-オクチルフェノール) ヒト/ラビット : 軽度の皮膚刺激性 (SIDS, 2005), EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL Invt., Access o n Jun. 2017)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	[日本公表根拠データ] (メチルシクロヘキサン) ラビット 軽度の刺激性 (RTECS, 2005) (トルエン) ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003) (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) ラビット 72時間後に回復 (SIDS, 2002) (p-tert-オクチルフェノール) ヒト/ラビット (SIDS, 2005); EU Eye Dam. 1 (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし

発がん性	[日本公表根拠データ] (トルエン) IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (無機粉体) IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (スチレン・ブタジエンゴム) IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) ACGIH-A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない (無機粉体) ACGIH-A4(2009) : ヒト発がん性因子として分類できない (アスベストを含まないもの) (無機粉体) ACGIH-A1(2009) : 確認されたヒト発がん性因子 (アスベストを含むもの) (トルエン) ACGIH-A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない (無機粉体) 日本産衛学会-1 : 人に発がん性があると判断できる物質
労働基準法 : がん原性化学物質	鉱油
生殖毒性	[日本公表根拠データ] (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) cat. 2; SIDS, 2002
催奇形性	データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	[区分1] [日本公表根拠データ] (無機粉体) 呼吸器 (ACGIH 7th, 2010) [区分3(気道刺激性)] [日本公表根拠データ] (トルエン) 気道刺激性 (PATTY 5th, 2001) [区分3(麻酔作用)] [日本公表根拠データ] (メチルシクロヘキサン) 麻酔作用 (HSDB, 2005)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	[区分3(麻酔作用)]
	(トルエン)
	麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	[区分1]
	[日本公表根拠データ]
	(無機粉体)
	呼吸器 (ACGIH 7th, 2010)
	[区分1]
	[日本公表根拠データ]
誤えん有害性	[区分1]
	[日本公表根拠データ]
	(メチルシクロヘキサン)
	cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity = ca. 0.95 mm2/s (20℃)
	(トルエン)
	cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm2/s (40℃)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性	水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 短期(急性) 成分データ	[日本公表根拠データ] (メチルシクロヘキサン) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50＝0.33mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2006) (トルエン) 甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006) (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.84mg/L/48hr (環境省, 1999) (p-tert-オクチルフェノール) 甲殻類 (アミ) LC50=0.0479mg/L/96hr (環境省リスク評価第2巻, 2003)
水生環境有害性 長期(慢性) 成分データ	[日本公表根拠データ] (メチルシクロヘキサン) 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=0.067mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2006) (トルエン) 甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006) (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) 魚類 (メダカ) ELS NOEC=0.053mg/L (環境省生態影響試験, 2007) (p-tert-オクチルフェノール) 魚類 (ニジマス) NOEL=0.0061mg/L/60days (OECD SIDS, 1995)
水溶解度	(メチルシクロヘキサン) 溶けない (ICSC, 1997) (トルエン) 溶けない (ICSC, 2002) (2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール) 0.00006 g/100 ml (25℃) (ICSC, 1999) (無機粉体) 溶けない (ICSC, 2012) (鉱油) 溶けない (ICSC, 2006)

残留性・分解性	(メチルシクロヘキサン)
	急速分解性なし (BODによる分解度:0% (既存点検, 1986))
	(トルエン)
	BODによる分解度:123%(既存点検)
	(2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール)
	急速分解性なし(BODによる分解度:4.5%(既存点検,1979))
	(p-tert-オクチルフェノール)
	BODによる分解度:0%(SIDS,2005)
生体蓄積性	(メチルシクロヘキサン)
	BCF=321(Check&Review,Japan)
	(トルエン)
	logKow=2.73(PHYSPROPDB,2008)
	(2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール)
	logPow=5.1(ICSC,1999);BCF=2800(Check&Review,Japan)
	(鉱油)
	logPow>6(ICSC,2006)
土壌中の移動性	データなし
他の有害影響	
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

【廃棄物の処理方法】

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

【汚染容器及び包装】

容器は有害廃棄物として処理する。
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

・運搬に際しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・損傷を生じる事がないように注意して積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
・混載禁止物質との混載は避けるなど、消防法、その他法令の危険物に関する定めに従い適切に輸送する。
・消防法による危険物第四類第一石油類であるので、第一類の危険物及び第六類の危険物との混載は禁止されている。

国連番号、国連分類	国連番号	1263		
	正式輸送名	塗料又は塗料関連物質		
	分類または区分	3		
	容器等級	II		
	指針番号	128		
	特別規定番号	163; 367		
IMDG Code	国連番号	1263		
(国際海上危険物規程)	正式輸送名	塗料又は塗料関連物質		
	分類または区分	3		
	容器等級	II		
	特別規定番号	163; 367		
IATA	国連番号	1263		
航空危険物規則書	正式輸送名	塗料又は塗料関連物質		
	分類または区分	3		
	危険性ラベル	Flamm. liquid		
	容器等級	II		
	特別規定番号	A3; A72; A192		
【 環境有害性 】				
MARPOL 条約附属書 III	海洋汚染物質	該当		
個品有害物質による汚染防止	(該当/非該当)			
MARPOL 条約附属書 V	特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分 1	該当物質:	無機粉体
廃物排出による汚染防止	水生環境有害性: 短期(急性)	区分 1	該当物質:	メチルシクロヘキサン , p-tert-オクチルフェノール , 2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール
	水生環境有害性: 長期(慢性)	区分 1, 2	該当物質:	メチルシクロヘキサン , p-tert-オクチルフェノール , 2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール
【 バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 】				
改訂有害液体物質及びIBCコード	有害液体物質(Y類)	トルエン; メチルシクロヘキサン		
【 国内規制がある場合の規制情報 】				
船舶安全法	引火性液体類	分類3		
航空法	引火性液体	分類3		

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令　　毒物及び劇物取締法に該当しない。

消防法:	第 4 類 引火性液体第 1 石油類 危険等級 Ⅱ(指定数量 200L)
労働安全衛生法:	特化則に該当しない製品
	有機溶剤等に該当しない製品
	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
	名称表示危険/有害物　メチルシクロヘキサン(別表第9の576)
	名称通知危険/有害物　鉱油(別表第9の168);2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール(別表第9の262);　メチルシクロヘキサン(別表第9の576)
	別表第1危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)
	危険物・引火性の物(0℃<=引火点<30℃)
化学物質管理促進(PRTR)法	該当しない
化審法	優先評価化学物質 トルエン(政令番号46人健康影響/生態影響);　2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール(政令番号64生態影響);　p-tert-オクチルフェノール(政令番号157生態影響)
悪臭防止法	トルエン
	政令番号16:敷地境界線許容限度10-60ppm
大気汚染防止法	有害大気汚染物質/優先取組
	トルエン(中環審第9次答申の141)
水質汚濁防止法	指定物質
	トルエン
	法令番号25
	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール
	法令番号55
	p-tert-オクチルフェノール
	法令番号55

16. その他の情報

参考文献経済産業省GHS支援ツール類GHS混合物分類判定システム(Ver.4.0)(2019 年 3 月現在)

各種材料MSDS

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)

http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度)です。